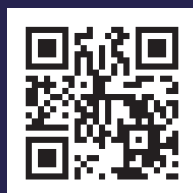




株式会社 S.I.C.

〒465-0092 名古屋市名東区社台 2-7-1
tel.0120-566-565 fax.052-737-2152

www.sic-kids.co.jp



児童発達支援・放課後等デイサービス

S.I.C.KIDS GUIDE

脳科学、発達生理学に基づく療育でお子さまの成長を加速

脳と身体にアプローチ！

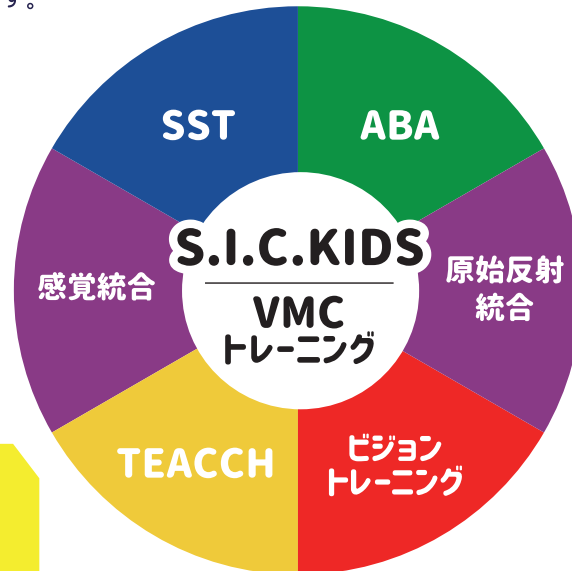
「気持ちがうまく伝えられない...」
「障がい特性の強い行動を取ってしまう...」
「周囲に理解してもらえない...」

S.I.C.KIDS は、お子さまの悩みや保護者の方の抱えている不安と向き合うことから始めます。
課題をクリアし、心身共に健康的な生活が送れることを願って支援しています。
信頼関係を大切に、安心できる環境づくりを心がけています。

こんな困りごとありませんか？

- ★ 集団行動・対人関係が苦手
- ★ 集中力がない
- ★ 物にぶつかる・よく転ぶ
- ★ 文字の読み書きが難しい
- ★ 記憶することが苦手
- ★ 感情のコントロールが苦手
- ★ 運動が苦手
- ★ 姿勢が悪い
- ★ 発語の遅れ

発達障がいの特徴ともいえる未熟な脳の成長を促すことにより、困りごとの根本解決を図ります！



S.I.C.KIDS は早期療育の大切さを提唱しています

昨今ゴールデンエイジと言われるように、幼児期からなるべく早期に運動能力を高めることは、その後の運動能力の基礎を形成する上で大切です。感覚統合運動や、粗大運動、微細運動などを行うことで、脳と神経の発達、心の育成、社会適応力などにつながる土台づくりとなります。また、学習機能の遅れは海馬の未発達、情動機能の遅れは扁桃体の未発達が原因と考えられています。S.I.C.KIDS の VMC トレーニングでは、脳が育つ順序を考慮して未熟な部分からアプローチし、海馬と扁桃体の発達も促します。



S.I.C.って、なんの略？

social inclusion

S.I.C.= ソーシャルインクルージョン の略です！

ソーシャルインクルージョンとは、「全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う」と言う意味です。



将来に向けてサポート！

途切れのない支援

S.I.C.KIDS は、お子さま一人ひとりに向き合ってそれぞれの課題をクリアしていくための児童発達支援・放課後等デイサービスです。



年齢・環境の変化に応じたサポート



垣根のない社会の実現のために 株式会社 S.I.C. 代表取締役 蟹江 誠一

子どもが健全に成長していく。そのためには、子どもを取り巻く環境と、関わる人達の想いが重要ではないでしょうか。S.I.C.KIDS で働くスタッフは、入社時に当社理念の共有を重視した研修を受講します。現場で直接子ども達や保護者の方々と関わるスタッフが、同じ想いを持って療育していくことが、子ども達を健全に育てていく過程で最も重要だと考えます。S.I.C.KIDS を通じて、一人でも多くの方へと幸せの輪を広げていきたいと思っています。

会社概要 COMPANY PROFILE

商 号	株式会社 S.I.C.
所在地	名古屋市名東区社台 2 丁目 7 番地 1
設立日	令和 2 年 2 月 5 日
資本金	400 万円
代表者	代表取締役 蟹江 誠一
事業内容	児童発達支援・放課後等デイサービスの開業・運営サポート 療育プログラム開発
沿 革	令和 2 年 2 月 設立
主要取引先	三菱 UFJ 銀行
顧問先	家田・木全法律事務所 大澤会計事務所 神谷一功司法書士事務所 社会保険労務士法人 東海人事労務 行政書士岡村事務所



S.I.C.KIDS に通われている

保護者さまの声

お子さま自身が楽しく運動、行動することで、
脳への刺激をさらに効果的な結果へともたします。

生活の中での一つひとつの物事の切り替えができるようになりました。

(Yさん)

本人の気持ちが向かない時もねばり強く見守ってくださり、子どものことをしっかり考えてもらえる場所だと実感しています。

通い始めてから、知らないうちに「こんなこともできるようになったんだ!」と思うことが増えた気がします。

(Kさん)

S.I.C.KIDS に行った日は、家でも自分の感情をコントロールできて、落ち着いて生活しています。

(Yさん)

先生たちが目をキラキラさせて、笑顔で子どもの様子を伝えてくれ、一生懸命さが伝わってきます。子どもも親も来るのが楽しみです!

(Mさん)

本人が毎週楽しみにしているので、S.I.C.KIDS が素敵な施設の証だと感じています。苦手な体育や、身体を使った遊びにも少しずつ参加できるようになってきました。

(Sさん)

コーチの皆さんがリズムよくリードして下さるおかげで、いつも楽しんでいます!

(Tさん)

以前、学校では一人で走り回ったりして、担当の先生がついていたけれど、最近では担当がつかなくても、みんなと一緒に自ら行動できるようになりました!

(Hさん)

今までは身体を動かすことは好きでも思うように動けず、すぐにあきらめてしまっていました。S.I.C.KIDSに通うようになり、スモールステップで少しずつでもできることが増えています。

(Sさん)

毎回楽しみに通っています。できることもすごく増えたので通えて良かったと思います。毎回どんな運動をしたのか様子を教えてくれるので、何がどのくらいできるかも分かるので助かっています。何より家ではできない運動ができるのがとても良いです。

(Kさん)

全く力もなく発語もなく、今まで発達が遅れていると言われてきたけれど、S.I.C.KIDSに通うようになり成長が見られて驚きです。本当に感謝しかありません。

(Mさん)



S.I.C.KIDS の運動療育プログラム

VMCTレーニング

Control of Voluntary Movements

VMCTレーニングは自発的な運動制御ができるようになる
S.I.C.KIDS のオリジナルトレーニングです。

★ 原始反射の統合

★ 感覚統合

★ ビジョントレーニング

★ SST

★ ABA

★ TEACCH



言語
発達

自己
肯定感

非認知
能力

自立心

集中力

協調性

可能性を
引き出し、育て、
伸ばす!

最大成長を促す支援

可能性を引き出し、個性を活かす療育で、自己肯定感を高め自立心と協調性を育みます。プログラムに沿った運動で神経発達を促し、言語発達、集中力の向上へとつなげます。人との距離感なども学び、コミュニケーション能力も養うことができます。



脳科学に基づいた 運動療育プログラム

障がい名に捉われず、幅広い視野と知識によって、一人ひとりの得意・不得意を分析、健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性の領域ごとに個別支援を行います。

if you can dream it, you can do it.

土台にアプローチ!

なぜ土台が必要なのか?

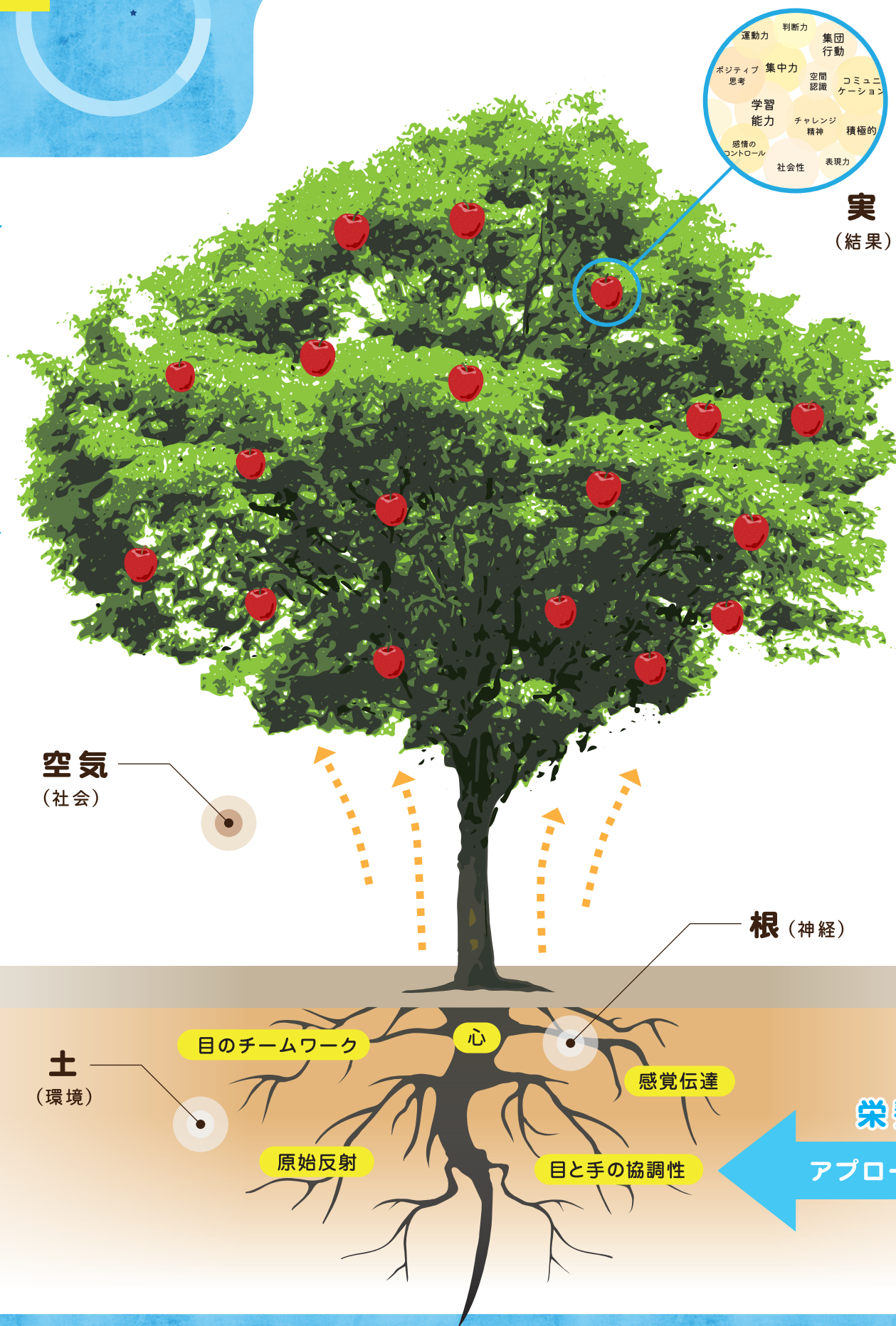
植物において根がしっかり張ることで十分な栄養を吸収して芽吹き、葉が茂り、花を咲かせ、実をつけます。

人においても根となる部分を育てることがお子さまの未来への可能性につながります。

土台へのアプローチとは?

S.I.C.KIDSでは、人の根となる土台は目・脳・感覚・心(安心・自己肯定感など)が大きな柱と考えます。そのため、安心できる環境下で原始反射の統合、感覚統合、ビジョントレーニングなどを行うことで、土台をつくります。

実 成長・結果
空気 社会・集団生活
土 環境・家庭
根 神経
栄養 VMCTトレーニング



S.I.C.KIDS の運動療育プログラム

VMCTトレーニング

原始反射の統合

▶ 原始反射の残存を減少させる

本来2歳頃までに自然消失すると言われている原始反射ですが、何らかの原因があり残存していることがあります。統合することにより、意識的に身体が動かせるようになり、身体の使い方が上手になります。

感覚統合

▶ 脳に入る感覚情報を分類・整理する

感覚情報の処理を円滑にできるようにし、シーンに応じた感覚の調整や注意の向け方、周囲の状況を踏まえた行動ができるようになります。

ビジョントレーニング

▶ 眼球運動の調整力を高める

両目のチームワークが良くなると、読み書きをする力が向上します。また、物の奥行がわかるようになることで、人や物にぶつかりにくくなります。

ABA

▶ 子ども一人ひとりの行動分析を行う

子どもの行動には理由があり、行動の“きっかけ”と“結果”に着目することで、子どもに対する理解を深め、問題行動を減らします。

TEACCH

▶ 子どもが理解しやすく、行動しやすい環境をつくる

不得意なことに注視するのではなく、得意なことに目を向け伸ばします。環境を整え、理解力の向上を促します。

SST

▶ 人とのコミュニケーションや、感情のコントロールの練習をする

社会において大切な技能の一つである、人とのやり取りを、遊びを通して楽しく体感することで、実践につなげます。